



FOREX WEEKLY REPORT

2017年9月25日

(株)新生銀行 市場営業第一部

SFXM-1709257503

I. 先週の動き

通貨	東京市場			海外市場			終日		
	始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値	
ドル円	9/18 月	111.09	111.00	111.40	111.17	111.66	111.57	111.00	111.66
高値	9/19 火	111.57	111.38	111.88	111.21	111.82	111.59	111.21	111.88
112.72	9/20 水	111.59	111.34	111.65	111.11	112.53	112.20	111.11	112.53
安値	9/21 木	112.22	112.19	112.72	112.14	112.71	112.49	112.14	112.72
111.00	9/22 金	112.48	111.65	112.55	111.85	112.17	111.99	111.65	112.55
ユーロ円	9/18 月	132.58	132.58	133.12	132.63	133.42	133.37	132.58	133.42
高値	9/19 火	133.36	133.28	134.14	133.27	134.16	133.86	133.27	134.16
134.40	9/20 水	133.85	133.69	134.02	133.27	134.10	133.44	133.27	134.10
安値	9/21 木	133.50	133.50	134.07	133.70	134.37	134.33	133.50	134.37
132.58	9/22 金	134.31	133.50	134.39	133.79	134.40	133.80	133.50	134.40
ユーロドル	9/18 月	1.1922	1.1921	1.1956	1.1915	1.1969	1.1954	1.1915	1.1969
高値	9/19 火	1.1954	1.1951	1.2006	1.1953	1.2006	1.1994	1.1951	1.2006
1.2035	9/20 水	1.1994	1.1987	1.2019	1.1861	1.2035	1.1895	1.1861	1.2035
安値	9/21 木	1.1892	1.1866	1.1901	1.1877	1.1954	1.1942	1.1866	1.1954
1.1861	9/22 金	1.1941	1.1938	1.1974	1.1937	1.2004	1.1950	1.1937	1.2004

◆先週の動き

[9/18]

週明けのドル円は、シドニー時間につけた110.90を安値に、東京市場休場で参加者が少ない中じりじりと上昇。欧州時間には、翌日からのFOMCを控え、12月利上げの思惑再燃から米長期金利が上昇したことに連れて111円台半ばまで上伸。NY時間に入ってからダウ・S&Pの最高値更新に支えられじり高の流れが継続し111.66(高値)をつけ、そのまま高値圏で引けた。週明けのユーロドルは1.19台半ばで膠着。その後も欧州時間、NY時間を通して材料に乏しく1.1915(安値)-1.1969(高値)のレンジで小動きとなって引けた。

[9/19]東京時間のドル円は、日経平均株価が大きく上昇し2万円台を回復したことに伴い、111円台前半から111.88の高値(ユーロ円は134.16の高値)まで上伸。しかし欧州時間に入るとFOMCを控えた調整売りからじりじりと値を戻す展開。NY時間には、米8月住宅着工件数(118.0万件/予想117.4万件)、同輸入物価指数(前月比+0.6%/予想+0.4%)は予想を上回ったが指標による反応は動意薄。一方でトランプ米大統領の「北朝鮮との対立がエスカレートした場合、完全に破滅させる以外に選択肢はなくなる」との発言を受け、111.21(安値)をつけた。その後、コーカー米上院外交委員長の「大幅減税案の策定で委員2人が暫定同意」との発言を背景に高値近辺まで上昇する局面もあったが、引けにかけては111円台半ばまで緩んだ。東京時間のユーロドルは、ユーロ円の上昇に連れて1.1951(安値)から1.2006(高値)までじりじりと上昇。欧州時間には良好なZEW調査期待(17.0/予想12.0)への反応は乏しかった一方、「ECB政策委員会、QE終了日程設定で見解分かれる」とのライター報道を背景に1.1953まで下落する場面もあったが、NY時間には高値近辺まで再び上昇。そのまま1.2000近辺で推移して引けた。

[9/20]ドル円は、FOMCを控え東京時間から欧州時間にかけて111円台半ばでの小動き。NY時間に入ってから米8月中古住宅販売件数(535万件/予想545万件)への反応は乏しくレンジ継続。その後FOMCは予想通り政策金利据え置きと資産縮小の10月開始を決定し、一時111.11(安値)をつけたが、同時に利上げ予想を年内あと1回と2018年に3回の維持したことを材料に、米長期金利の上昇とともに112円台まで急伸。イエレンFRB議長の会見では「今年の低インフレは一時的な要因による」「景気を過熱させないよう注意する必要がある」との発言もあり、112.53(高値)まで上値を伸ばして引けた。東京時間のユーロドルは、様子見ムードの中1.2000を挟んで膠着となり、欧州時間、NY時間を通してFOMC声明発表まで同水準での小動きが続いた。その後FOMC声明発表直後に1.2035(高値)をつける局面もあったが、今後の利上げ予想やイエレンFRB議長の発言を背景に1.1861(安値)まで大きく反落して引けた。



【9/21】東京時間のドル円は、前日のFOMCを受けて年内の米利上げ観測が高まる中、ドル買いの流れが継続。日銀金融政策決定会合では現状の金融政策維持が賛成多数で可決され為替市場は反応薄。夕方の黒田総裁の記者会見時に112.72(高値)をつけるも失速し、その後の欧州時間は112円台半ばで方向感なく推移。NY時間に入り米新規失業保険申請件数(25.9万件/予想30.2万件)・米9月フィラデルフィア連銀景況(23.8/予想17.1)が堅調だった一方、米7月FHFA住宅価格指数(+0.2%/予想+0.4%)は低調。米株式市場がオープンし株価下落、米金利低下する場面で112.14(安値)をつけるも下値は限定的で、英ポンド円を中心とした欧州通貨のクロス円に牽引される格好で112円台半ばまで値を戻して引けた。東京時間のユーロドルは、朝方につけた1.1866を安値に終日じり高の流れが継続した。NY時間には、英利上げ観測の高まりを背景に堅調推移していたポンドに連れて、欧州通貨全般へ買いが広がり1.1954(高値)まで上伸。そのまま1.19台半ばで引けた。

【9/22】東京時間のドル円は、朝方の「北朝鮮の対抗措置は太平洋での水爆実験を意味する可能性-聯合」との報道を契機にリスク回避の円買いを誘発、米10年金利低下に連れて112.55(高値)から111.65(安値)まで下落。欧州時間にかけて同金利が低下幅を縮小し112円近辺まで値を戻したが、ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁のタカ派発言「年内にもう一度の利上げ、可能性ある」への反応は薄かった。NY時間には予想を下回る9月マークイット米国サービス業PMI(55.1 / 予想55.8)を受けて一時111.85まで下押し。ジョージ・カンザスシティ連銀総裁の「遅すぎる利上げペース、金融不均衡のリスク」、カプラン・ダラス連銀総裁の「12月利上げに対して予断を持っていない」との相次ぐ発言への反応は限定的で、112円を挟み動意なく推移してひけた。東京時間のユーロドルは、米金利低下を背景に1.1938から1.1974までじり高。欧州時間もドル軟調の流れが継続し1.2004(高値)まで上伸したが、ドラギECB総裁のハト派発言「物価安定は2%弱のインフレ率と定義され、従ってまだ達成されていない」が伝わると1.19台後半まで下落。NY時間は24日にドイツ総選挙を控える中、1.1937を安値に1.19台半ばまでややレンジを下げた。ポンド円は、注目のフィレンツェでのEU離脱方針に関する講演でメイ英首相が新たな手掛かりを公表しなかった事、ムーディーズの英国格付引き下げ(「Aa2」→「Aa1」)を受けて152円台後半から150円台後半まで下落した。

II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	111.00	114.00	堅調
ユーロ/円	131.00	135.00	中立
ユーロ/ドル	1.1800	1.2100	中立

◆今週の予想

前週20日のFOMCにて本年追加利上げ期待が再び台頭しドル円は112円台まで上昇した流れを今週も継続し底堅い展開を予想。又、米税制改革の動向にも注目が集まっており、法人税率や企業の利益控除などが盛り込まれる見通しである。より具体的な内容が発表されればドル買いの材料になると考える。

週末に独総選挙、NZ総選挙と各国の政局が為替市場の材料となる中、本邦でも28日に衆議院解散が予定されており、総選挙は10月10日公示、10月23日投開票となる予定。解散総選挙での金融市場アノマリーは株高を示唆している。過去9回の内、解散から選挙までの日程の期間、日経平均株価が実に8勝1負である。平均騰落率は+6.2%となり、アノマリー確率論では、日経平均株価は2015年6月来の高値を上抜けバブル期以降の高値更新が視野に…？先週のFOMCで一段落後の為替市場に、株式市場からのプッシュアップ期待も台頭か…他、今週の経済イベントでは、黒田日銀総裁(25日)、ドラギECB総裁(25日)、イエレンFRB議長(26日)等々、主要中央銀行総裁の発言や、米8月米耐久財受注、8月米個人消費、8月日本CPI、9月ユーロ圏HICPなどの発表に注目である。

ユーロは週末24日ドイツ連邦議会(下院)選挙の投開票が行われ、メルケル首相率いるキリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)が第1党を維持しメルケル首相の4選が確実となったが得票率は過去最低水準となり、社会民主党(FDP)との連立解消することを決めた。メルケル与党は第3党との連立協議が難航する見通しであり、独の政治懸念がユーロの頭を抑えてはいるが、メルケル首相続投のメインシナリオは不変であり一時的と考えている。今週は週初25日にドラギECB総裁による欧州議会(経済・通貨委員会)での証言に注目が集まる。次回(10月26日)ECB会合にてテーパリングを決定すると表明しており、更に踏み込んだ金融政策見直しへの言及がなされるかに注目。経済指標は欧州各国の消費者物価指数が予定されおり、物価上昇基調が確認されればテーパリングへの支援材料になるであろう。



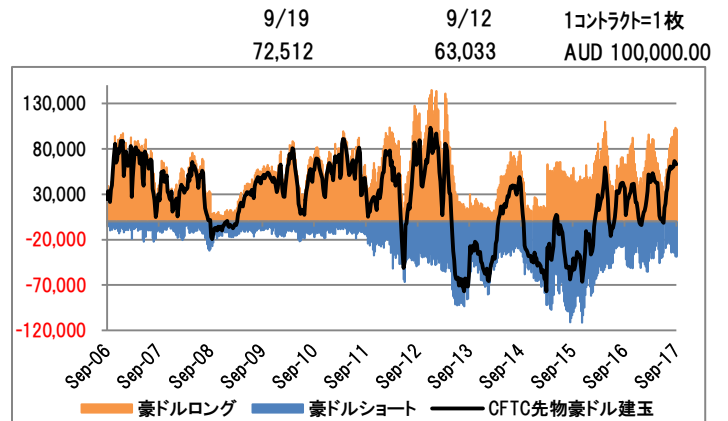
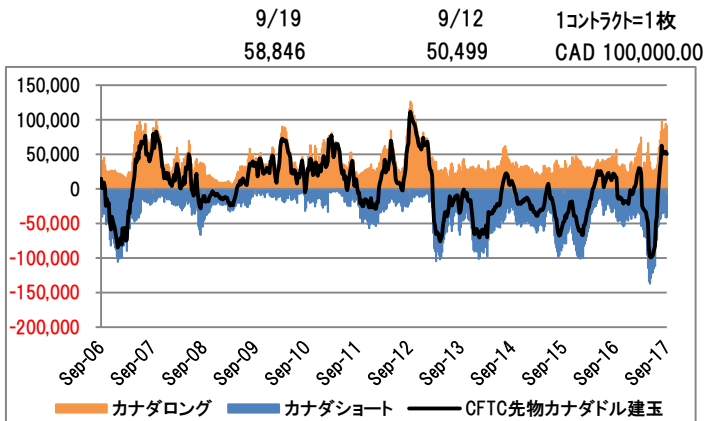
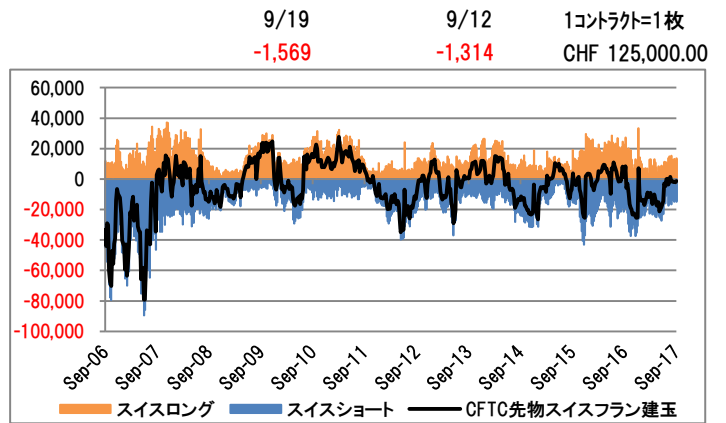
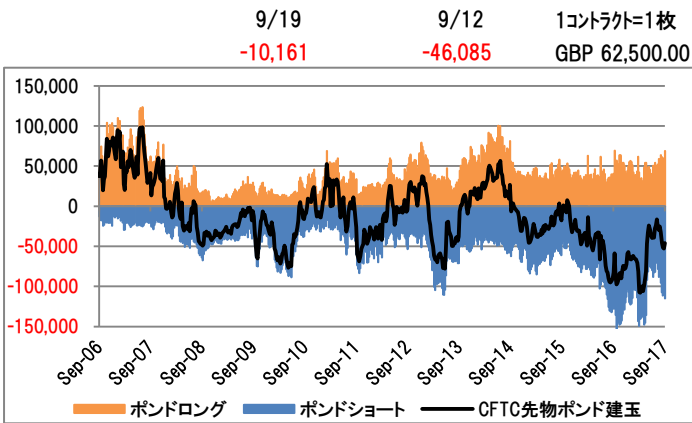
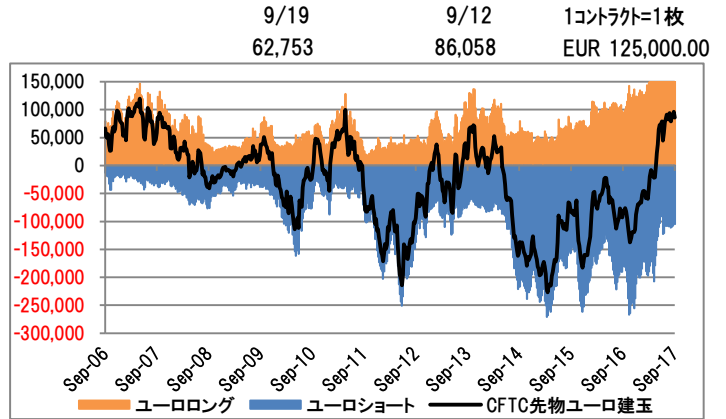
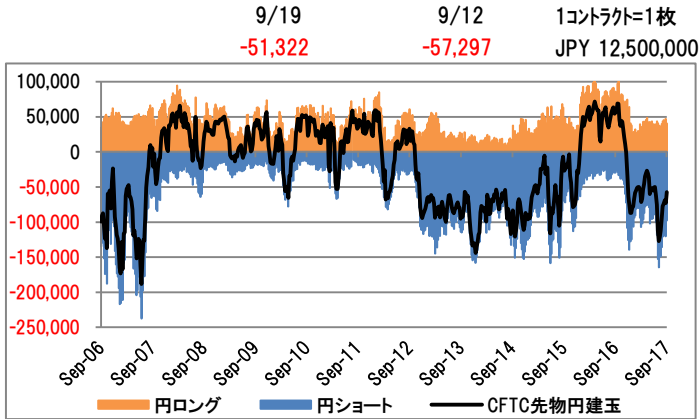
Ⅲ. 経済指標カレンダー

日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
9月25日	14:30	日		黒田日銀総裁、発言
	16:00	欧		コンスタンシオECB副総裁、発言
	17:00	独	9月	IFO企業景況感指数
	18:15	欧		メルシュECB専務理事発言
	21:30	米		ダドリーNY連銀総裁、発言
	22:00	欧		ドラギECB総裁、発言
	23:45	欧		クーレECB理事、発言
	1:40	米		エバンス・シカゴ連銀総裁、発言
7:30	米		カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、発言	
9月26日				ウィラーNZ中銀総裁、退任
	8:50	日		日銀金融政策決定会合議事要旨(7/19・20)
	21:00	欧		プラートECB専務理事、発言
	22:30	米		メスター・クリーブランド連銀総裁、発言
	23:00	米	8月	新築住宅販売件数
	23:00	米	9月	コンファレンスボード消費者信頼感
	23:00	米	9月	リッチモンド連銀製造業指数
	23:30	米		ブレイナーFRB理事、発言
	1:30	米		ポストティック・アトランタ連銀総裁、発言
	1:45	米		イエレンFRB議長、発言
9月27日	20:00	米		MBA住宅ローン申請指数
	21:30	米	8月 速報値	耐久財受注(前月比)
	23:00	米	8月	中古住宅販売仮契約(前月比)
	2:30	米		ブラッド・セントルイス連銀総裁、発言
	3:00	米		ブレイナーFRB理事、発言
	5:00	NZ		RBNZオフィシャル・キャッシュレイト
	8:00	米		ローゼングレン・ボストン連銀総裁、発言
9月28日	15:00	独	10月	GfK消費者信頼感
	17:00	欧		プラートECB専務理事、発言
	17:15	英		カーニーBOE総裁、発言
	18:00	欧	9月 確報値	消費者信頼感
	18:00	豪		デベルRBA総裁補佐、発言
	20:10	欧		ラウテンシュレーガーECB専務理事、発言
	21:00	独	9月 速報値	消費者物価指数(前年比)
	21:30	米	第2四半期 確報値	GDP(年率/前期比)
	21:30	米		新規失業保険申請件数
	21:30	米	8月 速報値	卸売在庫(前月比)
	22:45	米		ジョージ・カンザスシティ連銀総裁、発言
	23:00	米		フィッシャーFRB副議長、発言
	2:30	米		ポストティック・アトランタ連銀総裁、発言
9月29日				ドラギECB総裁、カーニーBOE総裁と会談(ロンドン)
	8:30	日	8月	失業率
	8:30	日	8月	有効求人倍率
	8:50	日		日銀金融政策決定会合における主な意見(9/20・21)
	10:45	中	9月	Caixin中国製造業PMI
	16:55	独	9月	失業者数(千人単位)
	17:30	英	第2四半期 確報値	GDP(前期比)
	18:00	欧	9月	CPI予想(前年比)
	21:30	米	8月	個人所得・個人支出
	22:45	米	9月	シカゴ購買部協会景気指数
	23:00	米	9月 確報値	ミシガン大学消費者マインド
	23:15	欧		カーニーBOE総裁、発言
	0:00	米		ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、発言
	9月30日	10:00	中	9月



IV. IMM投機勘定

- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



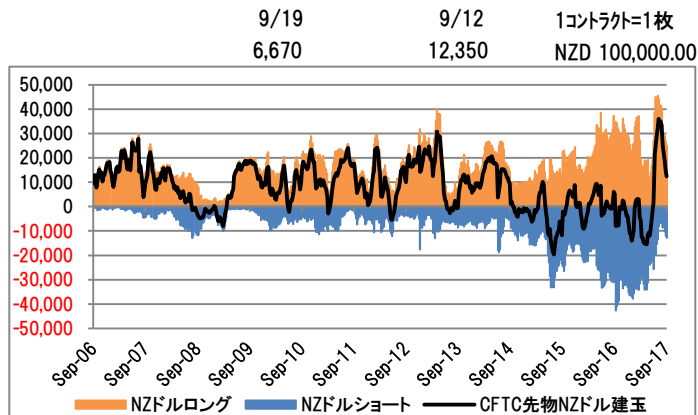
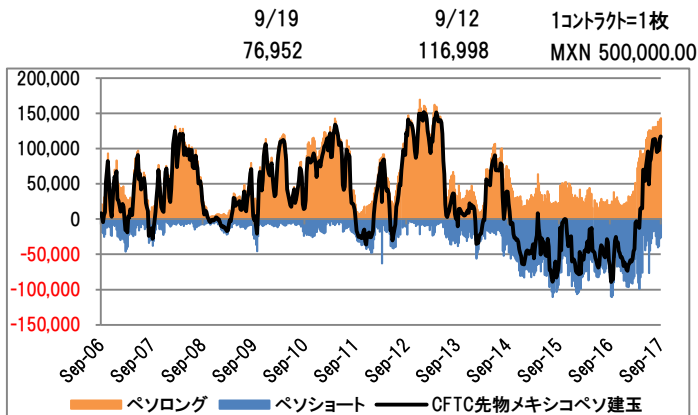


IV. IMM投機勘定

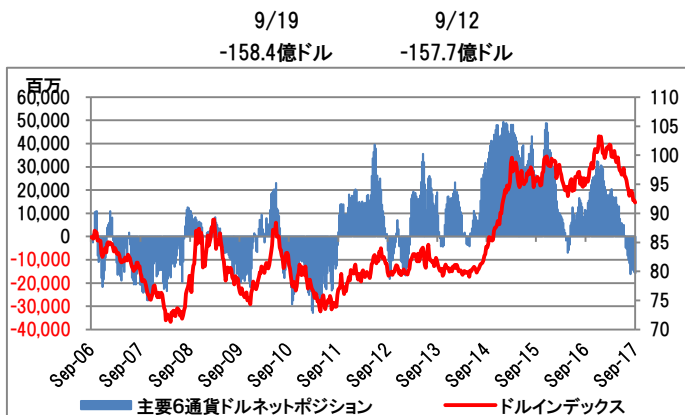
★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。

★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。

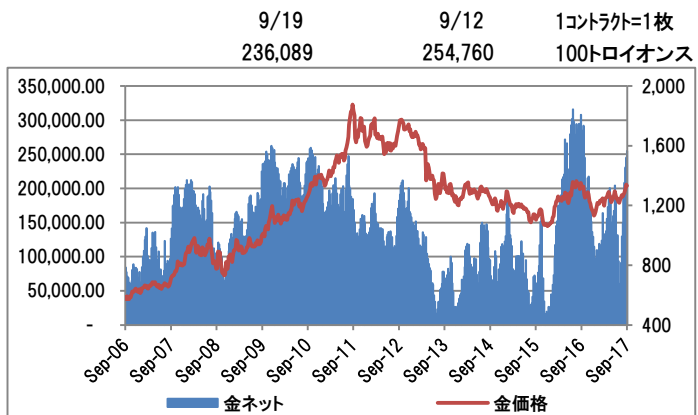
★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



★対8通貨のドルネットポジションとドルインデックス



★COMEX金投機筋ネットポジションと金価格の推移



- ・この資料の無断での複写、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります、また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等/株式会社新生銀行 登録金融機関/関東財務局長(登金)第10号
加入協会/日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会